

京都大学理学部(理学研究科)地球物理学教室同窓会講演会総会(要旨)

月日:2011(平成23)年2月19日(土)

会場:講演会・総会:京都大学理学部 6号館 301号室

懇親会 :京大北部構内 生協2階 “ほくと”

配布資料:京都大学地球物理学教室同窓会講演会・総会プログラム

平成22年度 京大地物同窓会 事業報告

2010年1月1日～12月31日の地球物理学教室同窓会収支

京都大学地球物理学教室同窓会名簿補遺 2011(平成23)年2月19日

「地球物理学と日弁連での活動」 笠原 一浩

「京大俳句のDNA」 前田 霧人

研究と教育のわが心のアルバムー『歌集エルニーニョ』を引きつつ、

全国日本学士会刊行会誌 ACADEMIA2月号別刷、鳥羽良明

講演会・総会(14:00～17:50): 教室主任中西教授の司会で会を進めた。

開会挨拶(田中会長):本日は寒さもそれほど厳しくなく、例年のように多く会員の皆様にご出席いただき嬉しく思います。本日、淡路副学長にはご多忙中のところを特別講演に、さらに平成10年海洋を卒業されました笠原一浩さんには福井からわざわざおいで頂いております。また鳥羽良明さんには歌集「エルニーニョ」に関連するお話を頂くわけですが、ここに10冊お持ち頂いておりますので、ご希望の方はどうぞ後ほど鳥羽さんにお声をおかけ下さい。それでは最初に中西教授から教室の近況についてご紹介頂きます。

地球物理学教室の近況

中西一郎教授(教室主任)

近況ご報告内容については、[ここをクリックして下さい。](#)

特別講演: 京都大学にける教育の現況

淡路敏之理事・副学長(M:S47/②)

特別講演の内容については、[ここをクリックして下さい。](#)

(休憩)

講演: 地球物理学と日弁連での活動

笠原一浩(H10/②)

配布されたレジュメ「地球物理学と日弁連での活動」に沿って講演は進められた。詳しい講演内容については[ここをクリックして下さい。](#)

講演: 京大俳句のDNA

前田霧人(S44/M:S44)

配布されたレジュメ「京大俳句のDNA」に沿って講演は進められた。詳しい講演内容については[ここをクリックして下さい。](#)

講演:『歌集エルニーニョ』よりー研究・教育の心のアルバムー 鳥羽良明(S30/D:32②)

当日出席者に配布された全国日本学士会の会誌“ACADEMIA”126号(2011年2月号)の別刷「研究と教育のわが心のアルバムー『歌集エルニーニョ』を引きつつ」と、POWERPOINTの画面を交えて、子供のころから現在にいたる心のアルバムが、上記歌集の関連した歌とともに紹介された。特に、別刷の前半にある京大における速水頌一郎教授の思い出部分を中心にして、幾人かの恩師の講義中の写真なども紹介された。また配布された別刷にはないものであったが、短歌の師であった扇畑忠雄(京大文学部卒の万葉学者で歌人、東北大名誉教授)のことや、上記歌集にある歌論から「地球物理現象の歌」として、土屋文明歌集『葦菁集』の中国旅行の歌なども紹介された。

京都大学地球物理学教室同窓会平成22年総会

岩崎好規副会長の司会で総会を進めた。

最初に岩崎副会長から、総会プログラムに沿って事業報告がなされた。最初に2010年2月13日の講演会・総会の報告、2010年11月13日の拡大役員会の報告がなされた。会計報告は、福田洋一教授から配布資料の2010年同窓会収支を参考にして、7名の入会と2011年への繰越金34,054円減ほかの報告がなされた。続いて田中良和監査から1月24日の監査報告を受けて、以上の3報告を承認した。

議事の役員改選に移り、まず荒木 徹名誉教授を次期会長に選出した。続いて、同窓会規約に従って、荒木新会長は役員全員の留任を提案された。賛成が得られたので役員は全員留任することになった。

議事「同窓会の略称について」では、上記2010年11月13日開催拡大役員会から「知球会」が提案されたほか、諏訪 浩氏から「花折会(はなおれかい, または, はなおりかい)」が提案されたが、決定には至らなかった*。

最後に竹本幹事より、「京大地球物理学研究の百年(Ⅲ)」を作る計画を進めており、同窓会のメールアドレスを利用して、思い出や印象に残る講義などの原稿執筆をお願いしたいとの依頼を受けて、これを了承し、協力することとした。

以上

*注記

諏訪氏からは、つぎのような花折会提案理由が述べられた。花折断層を念頭においている。この断層が、地球物理教室のある北部構内を東端で切ることが、広く知られるようになって久しい。花折会、断層を片隅に置くと、能楽の演目でも連想したくなるような、優雅な名称であるようにおもわれる。これに対し、支持意見はとくに見られず、「花折会」では固体地球分野の色合いが強いのではないかと、といった否定的な意見があった。それで、新会長の意向を伺いつつ、全学同窓会の愛称も横目で見ながら、なぜその愛称が良いかの論旨を明確にしてメール(手紙も含め)による投票で「花折会」と「知球会」のどちらかに決めるのがいいのではないかと意見があった。